

デジタル・イメージング技術部会 講演要旨

開催日：2017年3月7日（火） <2016-4 ②>

テーマ：「文化財の保存・修復・復元 -その主体とメディア」

講演者：平 諭一郎氏（東京藝術大学 Arts & Science LAB 特任講師）

世界の文化財は保存・修復・復元によって現在まで守り伝えられてきた。さらに日本では古くより「うつす」（模写、模刻）という行為によって文化財が伝承され、劣化を免れない文化財に成り代わってその信仰や芸術性を伝える独自の文化を継承している。そのような伝統的な模写に現代のデジタルイメージング技術を融合させることで、すでに消失してしまった文化財の復元が可能となり、新たな模写が文化的ジェノサイドへの抗力として機能することが証明された。

しかし、古くより伝わる文化財とは異なり、現代の芸術作品はその素材や表現形態が拡張している。科学技術の発展と共にフィルムやビデオ、コンピュータ・アート、メディア・アート、パフォーマンスといった、ものとして不定形な作品が次々と登場している。古いテクノロジーが新たなテクノロジーに代替される様は、はたして新たな「うつす」行為と言えるだろうか。未来の文化財は、誰が、何を、どのように伝えていくのだろうか。

仏像、仏具、化石、土壁、金銀、
木材、絹織物、舞楽面、屏風、
人形、甲冑、青銅、襖、着物、墨、
和紙、瓦、掛軸、刀剣、七宝、
ロウケツ染、皿、五重塔、卷子、
銅器、武器、書画、書籍、経文、額、
楽器、墨、印章、文房諸具、農具、
布帛、衣服装飾、皮革、貨幣、
諸金属造器、陶磁器、漆器、土壁、
茶器香具花器…

便器、水、歯ブラシ、コップ、テレビ、
牛乳、フライパン、コーヒー、髪、
ポマード、トイレットペーパー、
カミソリ、ネクタイ、シャボン玉、
チューインガム、ゴミ袋、ロウソク、
ペットボトル、蛍光灯、段ボール箱、
ダイヤモンド、トランペット、蝶、
こけし、爆竹、刀、カニ缶、ティーバッグ、
チョコレート、バナナ、にんにく、
ワイン、ラジオ、馬、へその緒…